

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、炭山嘉伸、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

今回の特集は『癌診療に役立つ最新データ 2007-2008』というタイトルでお送りした。これは、いわゆる evidence-based-medicine (EBM) を実施するうえで知っておかねばならない癌診療上の最新情報の必須マニュアルに値するものであろう。特に患者さんおよびその家族の方への説明、すなわちインフォームド・コンセントを行っていくうえで欠かせない情報である。また、セカンド・オピニオンを希望する患者さんへのアドバイスにおいても担当医師はこのような最新情報を手元においておくとう用であろう。癌診療における年々の進歩をつねに多くの領域でフォローするのは忙しい勤務医にとってはなかなか大変なことである。各領域のエキスパートが要領よくまとめてくれるこのようなデータ集は臨床医にとって大変ありがたいものであろう。

ところで、最近は臨床医のあり方がしばしば取り上げられ、総合臨床医的なものがもてはやされているが、臨床医というのはまずは卒後しっかりと全身を診れるような総合医的なトレーニングをしたうえで各領域の専門医になり、さらにそのなかから high-volume で診療するエキスパートも生まれるものである。専門医を目指していく場合にも、卒後早い時期から専門領域のみを研修して短い時間で専門医に到達させるような教育プログラムを組むことが真に適切な専門医を育てるとは考えにくい。総合臨床医と専門医を卒後の早い時期から分けて育成するような方向性も間違ったものであり、不適切な専門医を育成しかねないし、また一方、総合臨床医を目指すものにもよい環境とは言えないであろう。

臓器は多数あるが患者さんの身体はたった1つであり、どの臓器も連関している。言い尽くされた言葉ではあるが、臨床医は患者さんを診るのであって、病気やその病んだ臓器を診るのではないことを改めて認識するべきである。全身を診るための知識、技術、経験はどのような立場の臨床医にとっても必須の大前提である。また一方で、総合診療医だとか総合臨床医のみをあたかも別な臨床医師として育成するようなプログラムほど危なっかしいものはなく、このような提言をする人達は、自身が総合医的なトレーニングを若いうちに受けずに、また、そのような意識を持たずに専門医なり学究者になった方なのかもしれない。

(宮崎 勝)

臨床外科 (第62巻第11号 増刊号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2007年10月22日発行 (通常号毎月1回20日発行)

本号特別定価 8,610 円 (本体 8,200 円 + 税 5%)
2007年 年ぎめ予約購読料 38,960 円 (税込)
(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp
担当 田村・鶴淵・中田
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。